ポスター掲載のQRコードのリンク先の掲載資料②

別添3

仕事で労働者を失わないようにするための 3つのアプローチ

― ただちに、以下の3点に取り組んでください！ ―

福井労働局
福井・武生・敦賀・大野 労働基準監督署

☑ アプローチ 1

労働者を大事にする会社であり、仕事で死なせないことを表明し発信する。

① 労働者の安全と健康の確保対策に積極的に取り組む会社は、社会的にも評価され、人材確保の面でもプラスになるなど、経営面からも重要性が増してきているとされています。

② こういった社会情勢も踏まえ、 事業場トップが安全衛生に積極的に関わることで、「事業者の責務」を全うする意思を示していくことが肝要です。

③ 事業場トップの姿勢が事業場の安全衛生水準を決定すると言っても過言ではありません。

☑ アプローチ 2

労働災害の現状を把握し、我がこととしてとらえる。

自社で起こった事故を繰り返してはならないのはもちろんのこと、世間で起こった事故を、自社でも起こりうるものとして捉えてください。

☑ アプローチ 3

作業にひそんでいる危険はないか、今一度、点検・確認を。

① 死亡労働災害が発生した事業場の方からは、「長年、同じように作業を繰り返してきたが、このような事故が起こるのは初めてだ・・・。」という言葉を、よく耳にします。
多くの場合、それまでの間、たまたま事故が発生しなかっただけのことです。

② 事務作業しかない事業場であっても危険が存在しないわけではありません。

③ 事業場ごとに危険の種類は、まちまちです。
自分たちの作業には、危険がひそんでいないのか、今一度、点検・確認してください。

④ 見つかった危険に対しては、先手を打って安全を確保してください。

⑤ 一定の安全のための措置をとっていても、何らかの理由により、その措置が機能せず、または、乗り越え、無効な状態にされるなどして災害は起こっています。
安全のための措置をとる際には、現場の声を尊重し、より作業の実情に応じたものとすることが重要です。

（R５年10月）